

IB

花みどり振興財団

経 営 状 況 説 明 書

公益財団法人浜松市花みどり振興財団の
令和 6 年度事業計画

目 次

	頁
1 令和6年度事業計画の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	5
2 令和6年度予算の状況・・・・・・・・・・・・・・・・	11

公益財団法人浜松市花みどり振興財団の令和 6 年度事業計画について

公益財団法人浜松市花みどり振興財団の令和 6 年度事業計画を地方自治
法第 243 条の 3 第 2 項の規定に基づき次のとおり報告する。

浜松市長 中 野 祐 介

令和 6 年 度

事業計画の概要

令和 6 年度 公益財団法人浜松市花みどり振興財団 事業計画

1 運営の基本方針

公益財団法人浜松市花みどり振興財団は、はままつフラワーパークの管理運営を通して、来園者に圧倒的な美しさによる「感動」と「安らぎ」を与えるとともに、「花と緑のまち・浜松」の象徴的施設として、魅力あふれる空間づくりを進めます。

本年度は 5 ヶ年に亘る第 3 期指定管理期間の 4 年目でもあり、これまでの指定管理期間（平成 25～令和 5 年度の 11 年間）で培った集客実績と管理ノウハウを礎に更なる飛躍を遂げるべく、効率的かつ効果的な運営にスタッフ一丸となって取り組むことで、花の聖地としてのトップブランド化を図ってまいります。

花みどりを通じた園芸文化の普及においては、毎年当園の目玉展示である 1,300 本の桜と 50 万球のチューリップの競演「世界一美しい桜とチューリップの庭園」と「フジの庭園」を更に充実させ、「桜舞い、藤香る美しき庭園」が地域に着実に根付くよう、その PR に努めてまいります。

折しも令和 6 年 3 月 23 日より 6 月 16 日までの 86 日間、花と緑の一大イベント「浜名湖花博 2024」が当園等を会場に開催されています。昨年度はその準備として、新たなガーデン設置と公園施設の改修等を市と実施しましたが、花博を通じて当財団が有する豊かな園芸知識と経験を市民の皆様に還元すべく、県、市や花博実行委員会等関係機関とも緊密に連携を図りながら、「新生フラワーパーク」を強烈に印象付ける多彩で魅力的な花々の展示と多様な企画演出を行っています。

この花博を成功裏に終了させ、国内外からの集客増を図ることで、財団経営基盤の安定化と「浜名湖=花の観光地」としてのシティプロモーションの浸透を図ります。

併せて、当財団の設立目的である花みどりの普及や情操教育の場の提供として、学生の職場研修や学校出張講座のほか、園内に開設されている校外まなびの教室「くろーばー」での教育振興事業に協力し、園芸福祉活動拠点としての取り組みも行います。

今後も花とみどりに満ちた快適な市民生活の実現のために、「高度な園芸技術」「施設機能や特性に精通」「観光関係者との信頼関係」などの当財団の持つ強みを活かしつつ、新規の園芸文化普及事業にも積極的に挑戦し、地域の信頼と期待に応え得る円滑な法人運営に努めてまいります。

2 事業内容

【公益目的事業】

「花き類の栽培展示、栽培技術指導及び優良種苗の生産配布による園芸文化の普及と情操教育の推進に関する事業」

(1) 花き類の栽培技術の指導、花の優良種苗の生産及び配布業務

＜当地の自然環境や栽培要件に適合した種苗の生産及び配布＞

- ア キクの導入、試作、展示並びに優良品種の選定
- イ キクのオリジナル品種の普及及び配布
- ウ 浜松 PC ガーベラ部会と連携したガーベラ展示並びに人気品種の選定とその普及

(2) 園芸文化の普及、情操教育の推進業務

＜生活の質の向上や生きがいをづくりとしての生涯学習活動の推進＞

- ア 市民からの日常的な園芸相談の実施
- イ 「塚本こなみ園芸教室」をはじめ、各種園芸教室の開催
- ウ 教育関係者及び児童生徒等研修生の職場体験の受入
- エ 小中学校の総合学習との連携及び学校出張講座等「花育」の推進
- オ 園内ガイド、園芸作業ボランティアの積極的な受入
- カ 学生ボランティアの参加受入により健全な青少年の育成を行う「心根（こころね）」教育の推進
- キ 自然体験教室等の開催による教育文化事業の普及と情操教育の推進
- ク 市教育委員会と連携した「校外まなびの教室」の運用による児童への教育支援
- ケ 「健康増進パーク」として市民の健康づくりを实践する事業の実施
(トレッキングコース活用によるウォーキング利用者の来園促進)
- コ 地元生涯学習団体等と連携し、園の新たな利活用についての研究発表や植物に関連した体験教室等の随時開催による園芸文化普及事業の拡大
- サ 通常の園芸教室を発展させ、専門性の高い講師を招き自然分野に造詣の深い人材育成を目指す「(仮称) フラワーパークアカデミー」の開講準備
- シ 「ガーデンミュージアム」を具現化する「アート展」「オカリナコンサート」等の開催による花みどり文化の継承と発展

(3) 花みどりを基軸とした地域経済・産業の活性化関連業務

＜市民福祉の増進と浜名湖周辺地域の振興＞

- ア 障がいのある人や社会参画が困難な方々への園芸作業を通した園芸福祉事業の実施
- イ 観光圏振興の取り組みとして、民間主導の実行委員会形式による「浜名湖花フェスタ」への参画と浜名湖かんざんじ温泉観光協会等関係団体との協力連携

- ウ 周辺観光関連事業者や地域観光施設と連携した営業・誘客活動の推進
- エ 「浜松市花と緑の祭」等各種市民緑花ふれあい事業への参画
- オ 国交省「ガーデンツーリズム計画」に基づく当園等周辺観光7施設との庭園観光の中心地形成と滞在型観光地域づくりへの積極的参画
- カ フラダンスの聖地としてフライベントの定期開催をはじめ、花みどりと文化芸術事業の連携と市民交流人口の拡大
- キ 東アジア諸国を中心としたインバウンド受入等による誘客促進強化
- ク 市消防局や市関係機関等への園の利活用提案による市民協働事業の推進
- ケ 「天浜線 花のリレープロジェクト」参画による周辺の観光振興と地域活性化の推進
- コ 非日常的な屋外環境での企業研修・会議の場を提供する「(仮称) オープンエアオフィス」提案による令和モデルの働き方改革の提案
- サ 市内養蜂場との地域連携事業「はちみつプロジェクト」でのはちみつ商品開発と「はちみつ体験教室」等の実施による教育事業への積極的な貢献
- シ **新規**「第60回日本植物園協会総会 浜松大会」(令和7年5月下旬頃開催予定)に向けた準備と、「花と緑のまち・浜松」中核施設としての情報発信の強化

(4) 花き類の栽培展示業務

＜3,000種の草花の育成管理による自然環境とのふれあいの場の提供＞

- ア メインエントランス広場及びクリスタルパレス周辺のコンテナ花壇装飾
- イ 早咲きの桜園(館山寺桜、雛桜、雛八丈桜)の充実
- ウ 花梅園の修景及び早春ボタン展示の充実
- エ 早咲きラッパズイセンと菜の花及び早咲きチューリップの展示
- オ 桜とチューリップ展示(50万球)の効果的な展示手法の提案
- カ フジ(棚及び庭木仕立て)の適切な管理と「虹のフジのトンネル」の充実
- キ 西洋シャクナゲ、ヘメロカリスの植栽展示等、多彩な「花のリレー」の展開
- ク 熱帯スイレンの展示
- ケ ヒガンバナ類の展示
- コ アメジストセージをメインにした秋花壇の充実
- サ 百種接分菊、トーテムポール菊の栽培展示
- シ モザイカルチャー作品「森の仲間たち」の装飾とその維持管理
- ス ウェルカムガーデン、スマイルガーデン等の花壇展示による癒し空間の創出
- セ 熱帯植物(サボテン類、珍しい草花類)及び球根ベゴニアの育成管理
- ソ 国内植物園で初めて開花させたヨルダン国花「ブラックアイリス」の育成管理
- タ 一部改良したローズガーデンの適切な肥培管理による新たな感動の演出
- チ 園の基盤財産でありながら老木化が進む桜、梅等の計画的更新と枯木化した樹木の計画的植替

ツ **新規**「フラワーフォレスト」「はなのはら」等の花博新設花壇の活用と新たな癒し空間の創出

(5) 観賞、散策及び研修用の施設の運営管理業務

＜誰もが安心して利用できる快適な癒しの空間の提供＞

ア 夜間開園の魅力度アップ（夜桜、フジ、ウインターイルミネーション等）

イ 園内移動車両２編成（車椅子搭載可）稼働による入園者サービスや利便性の向上

ウ 作業研修、体験学習の場となる育苗・栽培圃場の管理と施設維持

エ 大温室クリスタルパレスの管理運営及び温室内ガーデンシアターでの企画展の開催

オ 「花みどり館」での体験学習機能の強化充実による集客機能の向上

（技術職員による体験教室の拡大や園の特性に合ったプログラムの実施）

カ 芝の常緑エリア拡大（オーバーシード）と美しい庭園空間の創出

キ マスコットキャラクター「ふらまる」を活用した広報活動の推進による親しみやすい園づくりの演出

ク 各種 SNS を駆使したリアルタイムかつインパクトのある「癒しと感動」プロモーションの推進

ケ 新たなアミューズメント機能創出に向けた資金獲得等の方策検討

コ **新規**「花博期間特別演出ウォータースクリーンショー」による新たな集客要素の演出

サ **新規**花博実行委員会との共催イベント開催による地域活性化拠点の形成

シ **新規**花博終了後もデジタル機器活用による顧客満足度向上の取り組み

(6) 館山寺総合公園の指定管理業務

＜浜松市における園芸・教育文化の象徴的施設としての効率的な管理運営の推進＞

ア 花の図書館「はままつフラワーパーク」と隣接する「浜松市動物園」が連携した「館山寺総合公園」の適正かつ効率的な管理運営

イ 動物園と連携したイベントの開催と誘客増の取り組み

（ナイトズー等における弾力的な連携とイベント相互告知の効果的实施等）

ウ 市と連携してのソフト・ハード両面に亘る計画的な整備の推進

（集客効果が高く、経営安定化にも資する施設の適切な保守）

(7) 「浜名湖花フェスタ」の定着化

ア 「浜名湖花フェスタ」の充実と花みどり文化の一大発信拠点としての園の定着化

イ 「浜名湖＝花の観光地」としての相乗効果演出と当地域への誘客力強化

ウ 集客力強化のため市と連携しての「インバウンド事業」への取り組みによる台湾、東南アジア等からの誘客促進

【収益目的事業】

「売店・レストラン・遊具・自動販売機売上等に関する事業」

- (1) 園内の売店・レストラン（カフェ含む）・遊具・自動販売機の活用による入園者の利便性の向上及び販売等に関する業務
 - ＜快適な便益施設及び更に魅力的なアメニティゾーンの形成＞
 - ア 直営ショップ、レストランでのキャッシュレス決済機能の活用による利便性の向上と売上の強化
 - イ 斬新な創作メニューの提供及びオリジナル名物メニューの開発・充実（導入例：クレミアソフト、野菜カレー、遠州双子丼等）
 - ウ 花みどり館カフェに流行に合わせたスイーツカフェの展開及びイベント期間でのキッチンカー展開による入園者サービス向上への取り組み
 - エ こども広場を中心とした安全で快適なアメニティゾーンの形成

3 業務の合理化など経営健全化への取り組み

＜CS（顧客満足）を意識した愛される園づくりの推進＞

施設やサービスなど多様な満足度の指標を設定し、部門別に評点化することで、従来の運営方法から一歩進めたCS（顧客満足）を展開するとともに、5S（整理、整頓、清掃、清潔及びしつけ）の取り組み等により顧客満足度を的確に把握し、お客様の声を運営に反映させ、入園者の増を図ります。

- (1) アンケートやメール・電話等を通じて市民から寄せられた意見等を集約し、改善すべき事項をマニュアル化することで、改善に結びつけます。
- (2) アンケートで毎月数値化される「顧客満足度」の向上を図ります。
（令和6年度目標満足度値 4.6点 平成30～令和4年度平均値 4.5点/5点満点）
- (3) 感染症拡大を防止し、安心安全な園運営の推進と、今後の状況に応じた営業戦略の柔軟な見直し及び適切な経費節減を図ります。

令和 6 年 度

予 算 の 状 況

1 令和6年度 公益財団法人浜松市花みどり振興財団 収支予算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
ア 基本財産運用益	12	12	0
イ 事業収益	456,915	426,919	29,996
入園料収益	225,228	210,432	14,796
レストラン売上収益	51,457	48,377	3,080
売店売上収益	96,530	89,213	7,317
駐車場使用料収益	45,100	42,394	2,706
園内移動車両使用料収益	9,800	9,212	588
施設使用料収益	14,250	13,395	855
その他使用料収益	10,900	10,246	654
受取雑収入	3,650	3,650	0
ウ 受託料	0	0	0
エ 受取指定管理料	136,200	136,200	0
オ 受取利息	15	15	0
経常収益計	593,142	563,146	29,996
(2) 経常費用			
ア 事業費	529,149	519,135	10,014
報酬	5,750	5,750	0
給料	79,963	76,086	3,877
職員手当	33,095	32,292	803
法定福利費	16,959	16,257	702
退職給付費用	5,000	19,556	△ 14,556
賃金	104,000	102,000	2,000
旅費交通費	400	400	0
報償費	7,770	7,770	0
燃料費	12,000	12,000	0
光熱水費	21,500	21,500	0
備品消費費	16,240	15,836	404
印刷製本費	1,842	1,842	0
通信運搬費	1,130	1,130	0
広告宣伝費	12,030	12,030	0

科 目	予算額	前年度予算額	増減
手数料	11,255	10,555	700
交際費	30	30	0
会議費	700	700	0
厚生福利費	171	171	0
負担金	460	460	0
被服費	300	300	0
賃借料	2,325	1,775	550
雑費	30	30	0
委託費	43,073	39,923	3,150
修繕費	11,135	11,219	△ 84
保険料	1,261	1,261	0
原材料費	5,544	5,440	104
肥料農薬費	4,292	3,941	351
種苗費	42,875	41,271	1,604
園内装飾資材費	3,500	3,600	△ 100
売店材料費	61,743	55,036	6,707
食材費	20,583	18,011	2,572
棚卸減耗費	100	100	0
減価償却費	2,093	863	1,230
イ 管理費	63,993	60,567	3,426
報酬	5,750	5,750	0
給料	14,727	14,489	238
職員手当	6,935	6,803	132
法定福利費	4,941	4,885	56
備用品費	30	30	0
通信運搬費	120	120	0
手数料	150	150	0
厚生福利費	140	140	0
負担金	400	400	0
委託費	500	500	0
公課費	1,300	1,300	0
消費税	29,000	26,000	3,000
経常費用計	593,142	579,702	13,440
当期経常増減額	-	△ 16,556	16,556

科 目	予算額	前年度予算額	増減
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
退職給付引当金取崩	-	16,556	△ 16,556
経常外収益計	-	16,556	△ 16,556
(2) 経常外費用			
経常外費用計	-	-	-
当期経常外増減額	-	16,556	△ 16,556
他会計振替額	-	-	-
当期一般正味財産増減額	-	-	-
一般正味財産期首残高	172,044	150,903	21,141
一般正味財産期末残高	172,044	150,903	21,141
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
1 (1) 受取補助金等			
当期指定正味財産増減額	-	-	-
指定正味財産期首残高	55,000	55,000	0
指定正味財産期末残高	55,000	55,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高	227,044	205,903	21,141

収支予算書内訳表

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	公益目的会計	収益事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
ア 基本財産運用益	12	-	-	12
イ 事業収益	289,578	167,337	-	456,915
ウ 受託料	0	-	-	0
エ 受取指定管理料	100,337	-	35,863	136,200
オ 受取利息	15	-	-	15
経常収益計	389,942	167,337	35,863	593,142
(2) 経常費用				
ア 事業費	392,048	137,101	-	529,149
イ 管理費	19,430	8,700	35,863	63,993
経常費用計	411,478	145,801	35,863	593,142
当期経常増減額	△ 21,536	21,536	-	0
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	-	-	-	-
(2) 経常外費用				
経常外費用計	-	-	-	-
当期経常外増減額	-	-	-	-
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 21,536	21,536	-	0
他会計振替額	6,077	△ 6,077	-	0
当期一般正味財産増減額	△ 15,459	15,459	-	0
一般正味財産期首残高	20,134	151,910	-	172,044
一般正味財産期末残高	4,675	167,369	-	172,044
II 指定正味財産増減の部				
1 (1) 受取補助金等				
当期指定正味財産増減額	-	-	-	-
指定正味財産期首残高	55,000	-	-	55,000
指定正味財産期末残高	55,000	-	-	55,000
III 正味財産期末残高	59,675	167,369	-	227,044

2 予定貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	10,000	10,000	0
預金	221,844	210,623	11,221
貯蔵品	5,000	5,000	0
未収金	5,000	5,000	0
立替金	-	-	-
流動資産合計	241,844	230,623	11,221
2 固定資産			
(1) 基本財産			
預金	55,000	55,000	0
基本財産合計	55,000	55,000	0
(2) 特定資産			
退職給付特定資産	142,544	137,200	5,344
修繕引当特定資産	-	-	-
特定資産合計	142,544	137,200	5,344
(3) その他固定資産			
有形固定資産	25,200	15,280	9,920
無形固定資産	-	-	-
その他出資金	-	-	-
その他固定資産合計	25,200	15,280	9,920
固定資産合計	222,744	207,480	15,264
資産合計	464,588	438,103	26,485

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
買掛金	10,000	10,000	0
未払金	75,000	75,000	0
未払費用	10,000	10,000	0
預り金	-	-	-
修繕引当金	-	-	-
流動負債合計	95,000	95,000	0
2 固定負債			
退職給付引当金	142,544	137,200	5,344
長期借入金	-	-	-
固定負債合計	142,544	137,200	5,344
負債合計	237,544	232,200	5,344
Ⅲ 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	50,000	50,000	0
補助金	5,000	5,000	0
指定正味財産合計	55,000	55,000	0
2 一般正味財産			
一般正味財産	172,044	150,903	21,141
正味財産合計	227,044	205,903	21,141
負債及び正味財産合計	464,588	438,103	26,485

3 資金計画

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	当 年 度 予 定 額
I 受入資金	
1 基本財産運用益	12
2 入園料収益	225, 228
3 レストラン売上収益	51, 457
4 売店売上収益	96, 530
5 駐車場使用料収益	45, 100
6 園内移動車両使用料収益	9, 800
7 施設使用料収益	14, 250
8 その他使用料収益	10, 900
9 受取雑収入	3, 650
10 受取指定管理料	136, 200
11 受取利息	15
当 期 収 入 合 計	593, 142
前 期 繰 越 収 支 差 額	227, 044
収 入 合 計	820, 186
II 支払資金	
1 事業費支出	529, 149
2 管理費支出	63, 993
当 期 支 出 合 計	593, 142
当 期 収 支 差 額	-
次 期 繰 越 収 支 差 額	227, 044

4 給与費明細

区 分	職 員 数	給 与				法 定 福 利 費	合 計
		報 酬	給 料	職員手当	計		
本 年 度	職 員 29人	千円 11,500	千円 94,690	千円 40,030	千円 146,220	千円 21,900	千円 168,120
	計 29人						
前 年 度	職 員 28人	11,500	90,575	39,095	141,170	21,142	162,312
	計 28人						
比 較	職 員 1人	0	4,115	935	5,050	758	5,808
	計 1人						
職員手当の内訳			千円			千円	
	扶養手当		1,452				
	調整手当		-				
	時間外手当		2,640				
	住居手当		2,565				
	通勤手当		1,847				
	期末手当		19,250				
	勤勉手当		10,044				
	管理職手当		2,232		計	40,030	